

山梨県北巨摩郡須玉町

**湯沢古墳
2号墳・3号墳**

バーミヤン須玉インター店建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002

須玉町教育委員会
特定非営利活動法人
文化資源活用協会

山梨県北巨摩郡須玉町

湯沢古墳 2号墳・3号墳

バーミヤン須玉インター店建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2002

須玉町教育委員会
特定非営利活動法人
文化資源活用協会

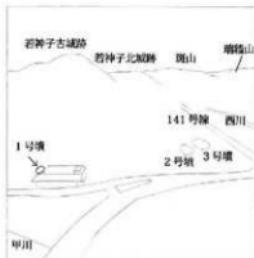


湯沢 2 号墳・3 号墳の横を国道 141 号線が走る





南から湯沢古墳 1号墳 2号墳 3号墳を望む



序

本報告書は、バーミヤン須玉インター店建設工事に伴い、発掘調査の成果をまとめたものである。本遺跡の所在する須玉町は、豊かな気候、風土に恵まれ、これまで各地で人々の長い歴史の跡が発掘・調査されてきました。本調査によってまた新たに縄文時代や古墳時代から中世・近世にわたる貴重な資料を得ることができました。最後になりましたが調査にあたってご指導御協力を賜りました関係者並びに調査・整理に従事された方々に厚くお礼申し上げます。

平成14年12月

須玉町教育委員会

教育長　藤巻宣大

例 言

1. 本報告書は、山梨県北巨摩郡須玉町若神子字小林 3124-1 番地他所在の湯沢古墳 2 号墳・3 号墳の発掘調査報告書である。
2. 本調査は、バーミヤン須玉センター店建設工事に伴い、株式会社すかいらーくの委託を受け、須玉町教育委員会が調査主体となり、その指導のもと特定非営利活動法人文化資源活用協会が、平成 13 年 2 月 21 日～26 日迄試掘調査し本調査を 13 年 6 月 18 日～7 月 16 日、10 月 22 日～31 日、12 月 3 日～10 日にかけて実施した。
3. <発掘調査組織>

調査主 体	須玉町教育委員会	教育長	藤巣寅大
調査担当	須玉町教育委員会	山路恭之助	
調査委員	深沢裕三		
発掘参加者	浅川英光 伏見徳芳 角井保之助 深沢照明 深沢直江 小沢久恵 八巻まさ子 石川モト子 宮崎夏子 白倉恵美子		
整理員	岡本美恵子 市川道夫 市川博子 小尾裕美子 浅川佐知子 三井ちぐさ 井出研二 井出正美		
4.	本書の執筆・編集 山路恭之助 深沢裕三 DTP 編集 浅川佐知子		
5.	本調査の山上品、諸記録は須玉町教育委員会が保管している。		
6.	本書の作成及び発掘調査にあたり、下記の方々より御指導御教示及び御協力を賜った。御芳名を記して感謝の意としたい。(五十音順・敬称略)		
	雨宮正樹 山月洋文 伊藤公明 小野正文 笠原みゆき 柳原功一 阪本美夫 佐野隆 木本健 田代孝 中山誠二 新津健 野沢宏昌 枝原三雄 平野修 保坂康夫 宮沢公雄 森原明廣 八巻与志夫 山下孝司 米田明訓 山梨県立考古博物館 山梨県埋蔵文化財センター 山梨県教育庁学術文化財課 帝京大学山梨文化財研究所 藤崎市教育委員会 大泉村教育委員会 高根町教育 委員会 明野村教育委員会 株式会社シン技術コンサル 雄測量設計株式会社		

凡 例

1. 本書で用いた地図は、国土交通省国土地理院の数値 200,000 (甲府 1/200,000 平成 9 年 7 月発行) 及び、数値地図 25,000 (若神子 1/25,000 平成 9 年 10 月 1 日発行) である。
2. 実測図の土器・陶器断面が黒塗りは須恵器、それ以外の白抜きは土器・土師器などである。
3. 遺構及び遺物の挿図中の縮尺は下記のとおりである。

遺構全体図	1/500	遺物火照図	土器 1/1	1/2	2/3	1/4	石器 1/1	その他 1/1	2/3	1/4
-------	-------	-------	--------	-----	-----	-----	--------	---------	-----	-----
4. 遺構及び遺物写真図版の縮尺は、統一されていない。

目 次

巻頭図版

序

例言

目次

第1章 調査に至る経緯と経過	1
第2章 遺跡の立地と環境	2
第3章 遺構と遺物	5

挿図目次

第1図 遺跡位置図	2
第2図 周辺の遺跡	3
第3図 遺跡詳細図	4
第4図 遺跡全体図	6
第5図 2号墳	7
第6図 3号墳	8
第7図 2号墳・3号墳石室	9
第8図 2号墳出土遺物	10
第9図 2号墳山上遺物	11
第10図 2号墳出土遺物	12
第11図 2号墳出土遺物	13
第12図 2号墳その他・3号墳出土遺物	14
第13図 3号墳出土遺物	15

表目次

表1 出土遺物観察表	16
------------	----

図版目次

図版1	2号墳	2号墳直刀出土状況
図版2	3号墳完掘	石列遺構
図版3	2号墳出土遺物	
図版4	2号墳出土遺物	
図版5	2号墳その他出土遺物	3号墳出土遺物

第1章 調査に至る経緯と経過

平成12年12月14日付けにより株式会社すかいらーく（バーミヤン）須玉店建設予定地における埋蔵文化財の有無及び取り扱いについて須玉町教育委員会に照会があり、平成13年2月21日から26日迄、店舗及び駐車場建設予定地面積 2585 m² 内での試掘調査を行った。教育委員会では株式会社すかいらーくの委託により、本調査を特定非営利活動法人文化資源活用協会に依頼し、三者にて平成13年5月30日に協定を締結した。国道141号線沿いに造られた3枚の棚田状の旧水田に幅1.2mのトレンチを4本、若神子古城から国道へ向けて任意の長さに設定し、重機による表土削ぎと飼籠による精査を行った。これらの田より約1.5m高くに造られた3枚の田には1.5m×1.5m方形の試掘坑を23ヶ所任意の位置に設けて、人力によっての精査を行った結果、耕作土下の茶褐色土層の包含層から平安時代の土師器片をはじめ、縄袖陶器片、染付陶器片等、数多くの平安時代から中世そして近世に亘る遺物を検出した。又、国道に平行した段上の田には塚か祠の跡が半円状に張り出しており、ここにトレンチを入れたところ、在地系の壺の破片と河原石が覆土下から数多く出土した。（後の3号古墳となる）須玉町の中心部を南北に走る佐久往還道（141号線）のバイパス（清里ライン141）を開設した際、道沿いに多量の廃材ほかコンクリートブロックなどが埋められ、これらがトレンチを入れた下から現われた。更に国道沿いのU字溝から古城へ向って深掘りすると、耕作土から80cm～100cm下で水が湧き出て、トレンチの壁が崩れ落ちる危険が生じたので、ローム層の地山を確認した段階で試掘調査を終えた。本調査は、バイパス開設の際、再造成了田の地番3214-1の一部、3141-1と3141-2を除いた調査対象区域内を試掘調査の結果をふまえて、表土から遺構確認面直上までの土を重機によって除去した。その面で5mメッシュのグリッドを調査範囲全体に設定し、その後人力により精査作業を実施した結果、湯沢2号墳と3号墳の遺構を検出するに至った。



湯沢2号墳・3号墳（手前）全景の西（右手）に若神子古城

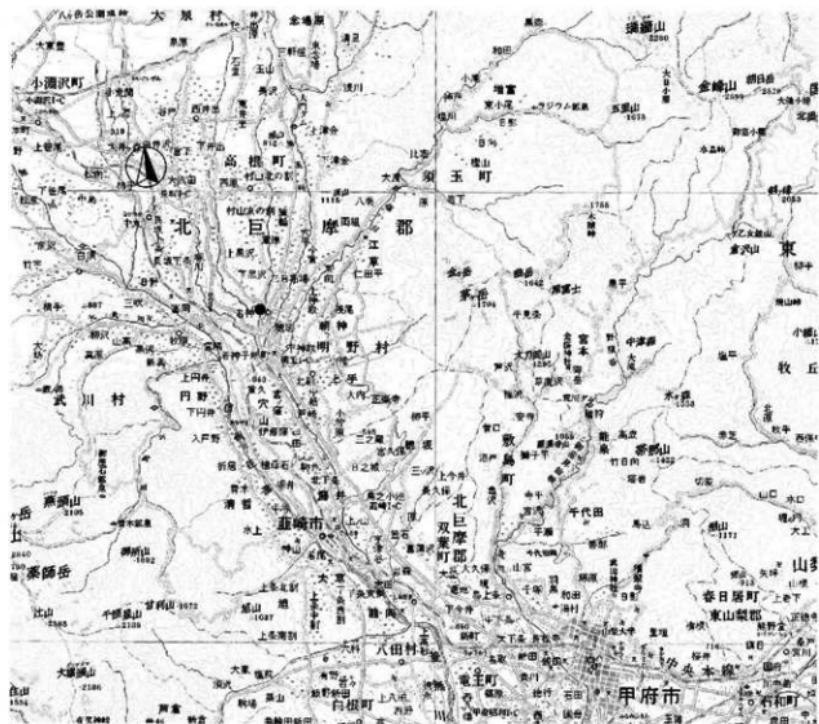
第2章 遺跡の立地と環境

湯沢古墳 2号墳・3号墳遺跡は、北巨摩郡須玉町若神子字小林 3124-1 番地他に所在する。須玉川の中流に形成された河岸段丘上、標高 522 m に立地する。遺跡の後山は、西川と鯨沢に挟まれた尾根の先端にあって、若神子古城と呼ばれる山城である。「甲斐国志」には若神子の西の台地上に平坦な城跡が三ヶ所あり、北城は小手指坂の南の正覚寺裏山に、中央の城跡は大城と称す・・・略・・・南城は下村の西で北を湯沢（沢）、南を鯨河（沢）に挟まれた山上にあると記されている。

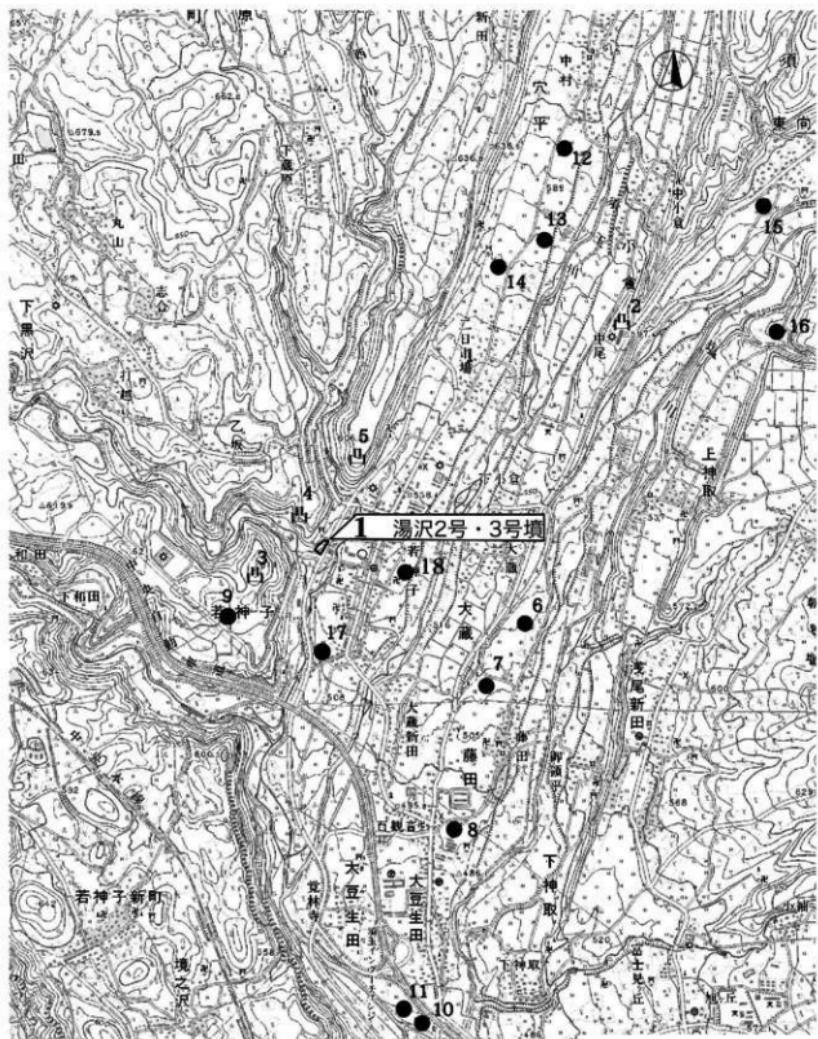
湯沢 2号古墳、3号古墳の東側は若神子町の中心にあたり、字名は御所と云い、ここを巡って御所村、御所北、御所前、滝の口、古城など中世城館に関する字名が今に残る。古城の南西麓 甲川（湯沢川）沿いの畠の中に円形の墳丘と天井石、側壁が露出した湯沢古墳（1号古墳）がある。何時、誰が掘り起したのか判らない。昭和 50 年発行の須玉町誌に「先年地元の方が安易に発掘した由であるが、その時人骨と思しきものが少々出土したが、副葬品の如きは発見されなかった云々」がある。若神子小学校古墳（聖人塚）が、若神子小学校西側の小高い所にあったとされるが、現在は整理されその姿を見る事はできない。

町誌に大刀、櫛、鉄鎌、壺形の土器などの写真が掲載されている。

<参考文献> 「須玉町史 考古・古代・中世」第一章 考古

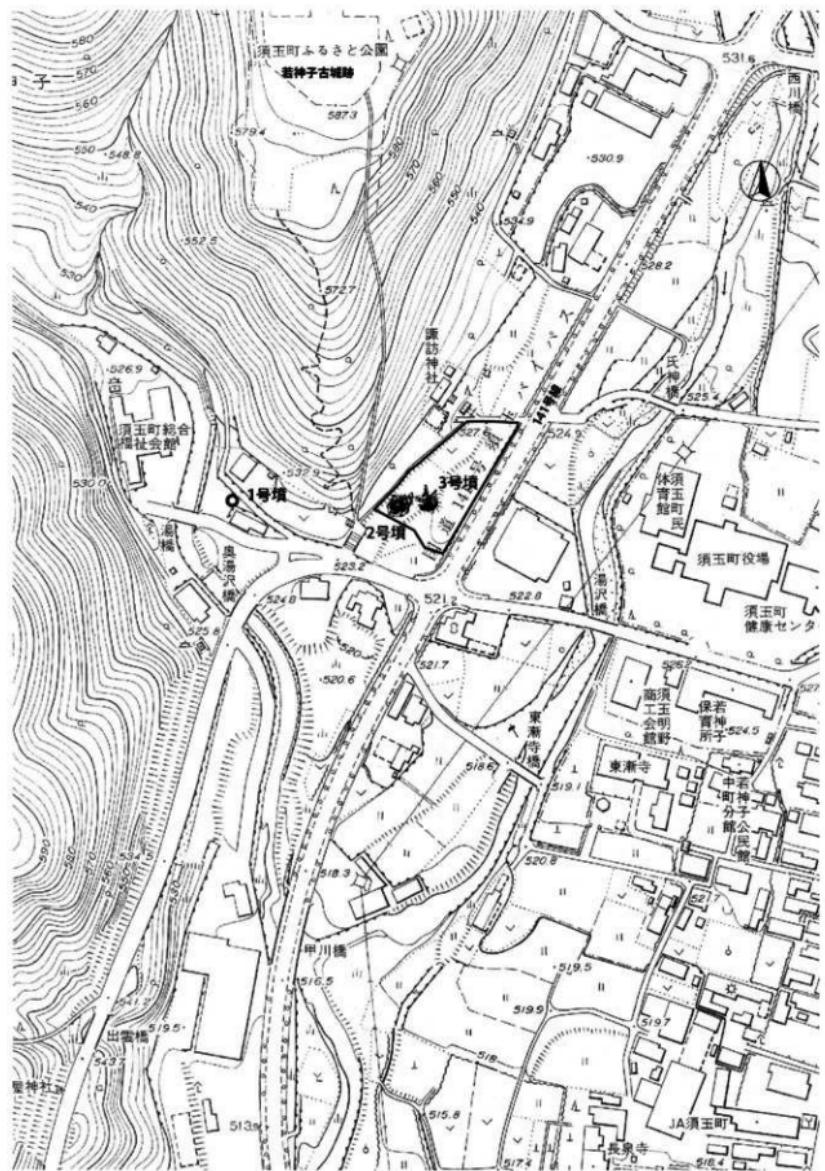


第1図 遺跡位置図 (1/200,000)



第2図 周辺の遺跡 (1/25,000)

1. 湯沢2号墳・3号墳遺跡
2. 中尾城
3. 若神子南城
4. 若神子古城
5. 若神子北城
6. 塚田遺跡
7. 滝下遺跡
8. 腰巻・腰巻北遺跡
9. 大小久保遺跡
10. 多屋前遺跡
11. 大豆生田遺跡
12. 飯米遺跡
13. 蟹坂遺跡
14. 宮田・笠張遺跡
15. 大木田遺跡
16. 下平遺跡
17. 五反田遺跡
18. 御崎前遺跡



第3図 遺跡詳細図 (1/2,500)

第3章 遺構と遺物

(1) 2号墳 (第4・5・7図 図版1)

約直径9mの円墳で人頭大ほどの石と土とを混合した封土を積み上げ、中段には二重の石列が巡る。地表から墳丘の石積みの高さ1mを測る石室は、南東方向に開口している。天井部は失われており、高さ60cmほどの側壁の石積み二段が残存していた。奥壁は高さ1.4m、幅1.8mほどの巨石で、石室側にすり落ちたような、或は寝たような状態で出土した。側壁は長さ3.5mが測られ、入り口部の閉塞石が遺存していた。石室の幅は奥壁付近で1.3m、入り口付近で1mとややすばまるが無袖である。石室中央部の床面には拳大の礫や小石が混って敷かれている。奥壁付近と入り口部付近には礫や小石は認められない。墳丘に伴う集溝は見当たらなかった。

出土遺物 (第8・9・10・11・12 図版3・4・5)

閉塞石の内側、玄室の奥壁へ向かって右側に長さ79cm最大幅3cmの直刀(1)と、反対側の左側から鉄鎌2本(2・3)が出土した。玄室の覆土で出土した須恵器甕の口縁部と胴部の一部が20数点出土している。閉塞石から2~3m離れて、南東から南、そして南西へ約2m幅に弧を描いて遺物の出土を見た。玄室の覆土から出土した須恵器甕と同個体の破片(5)ほか、長頸瓶の口頸部(6)口頸部と底部を欠いた甕(7)、平瓶の口頸部(8・9)、脚部を欠損した高坏(10)がある。馬具の一部と思われる金具(4)も出土した。玄室で検出された大刀と鉄鎌の時期は、6世紀まで遡ると思われ、弧を描いて帯状に点々と出土した甕の破片のほか、須恵器類は、7世紀前半期に比定される。古墳時代以外の遺物では、縄文時代中期後半のハの字文を施した深鉢片(13)、円形刺突と斜沈線文の(14)は、後期に比定され、黒曜石の石鎌(11・12)が出土している。11は、鋸齒状を呈していて完型である。波状沈線文を施し、外面が赤褐色、内面が橙色の弥生土器片、平安時代の甲斐型土器片、甕口頸部片、甕底部、中世の内耳土器片、近世の染付け陶器片等が出土している。

(2) 3号墳 (第4・6・7図 図版2)

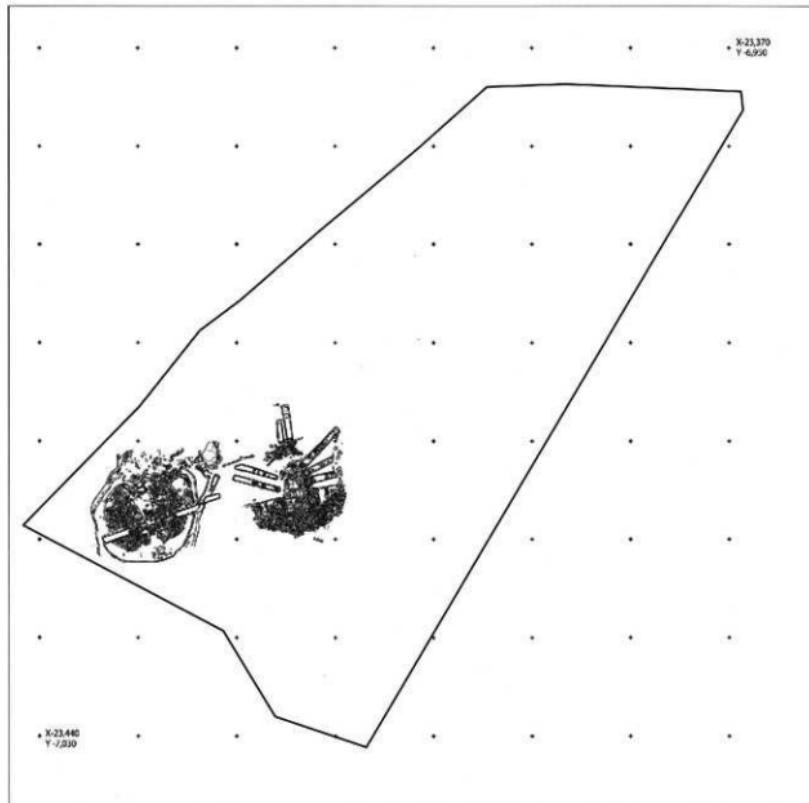
2号墳と同じく直径9cmの円墳で、封土の状態も酷似している。石室も南東向きに開口している。地表から墳丘の石積みの高さは60cmから1.5mが測られる。奥壁は高さ1.2m、幅80cmほどの巨石で側壁は長さ4.5mで石室は奥壁付近で2.2m、入り口付近で2mで、2号墳と同様に無袖である。石室の床面は拳大の礫と小石が、ほぼ全面に敷かれている。

出土遺物 (第12・13 図版5)

玄室内からの遺物は検出されなかったが、前庭部と玄室西側2m付近と東側3m付近から同個体の大甕の破片が四散した状態で発見された。土師質土器のように灰黄色を呈した須恵器で外周に叩き目文と横ナデが施され内面には、2号墳出土の大甕のような同心円文は全く見られない(1)。閉塞口から4m程西に離れて平瓶の口頸部(2)と閉塞口から東へ2m辺りから鬼高式土師器(3)が、石室の外側からは、糸切り痕が残る須恵器底部や坏の破片が出土している。古墳時代以外の遺物では、半截竹管工具による沈線文を施した縄文時代中期末～後期の深鉢片、縄文を地文とした深鉢片と3号墳入口部の閉塞石の覆土内から在地系土師器坏(4)が正位で出土している。他に土師器甕口頸部片、同底部、甲斐型坏口縁片、土師器底部片、蓮弁文の青磁片、染付け陶器片等が出土している。

まとめ

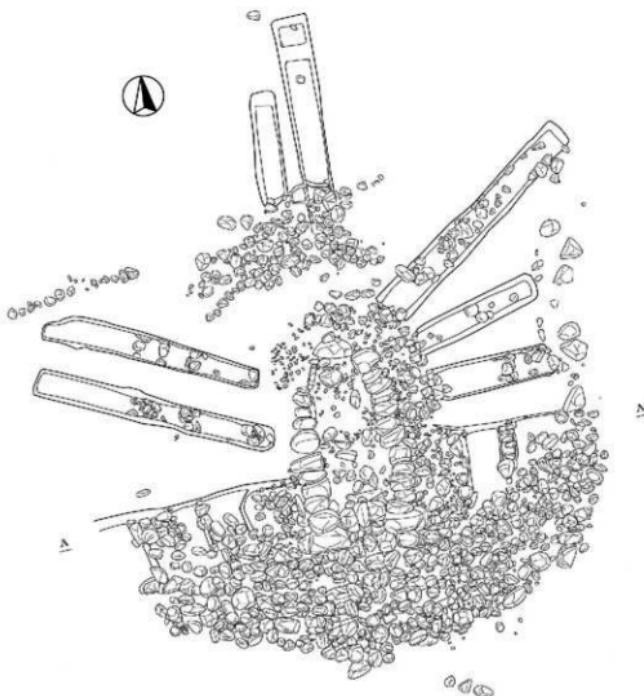
2号墳と3号墳の築造時期は大きな時差はなくそれぞれの石室形状が胴張りであること、2号墳出土の大刀と鎌、3号墳前庭部出土の鬼高期の土師器などから6世紀後期後半に比定されよう。更に2号墳の集溝と思われる2m幅の円周内から出土した表と錠と長頸瓶の口部等が7世紀前半のものであることから同時期に追葬が行われたと思われる。3号墳閉塞石の覆土上から出土した土師器环は、9世紀後半から10世紀前半に比定された大小久保遺跡出土の土師器と同時期の环である。平成6年度と8年度に発掘調査が行われた須玉町藤田の腰巻・腰巻北遺跡が古墳時代後半の集落址であり、出土した遺物が湯沢古墳と同時期であることから、須玉川右岸の範囲を中心とする大きな集落を掌握した長の墳墓がこの2基を考えられ、6世紀末までに古墳が築造されて第一次葬が行われ、7世紀前半期に追葬、平安時代にも追葬或は墓前祭祀が行われたことが2基の古墳の出土遺物から推定できる。



第4図 遺跡全体図（1/500）

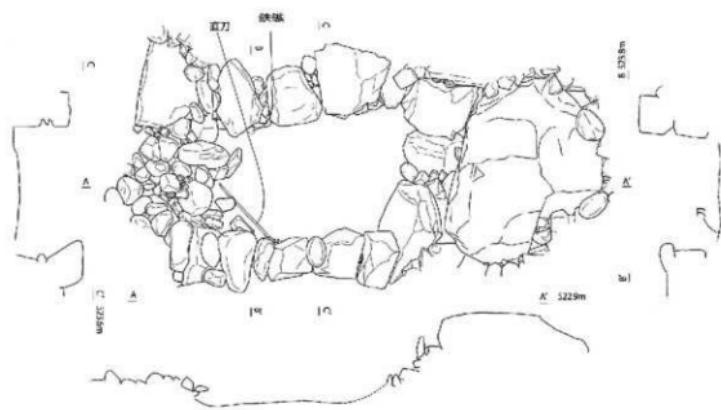


第5図 2号墳

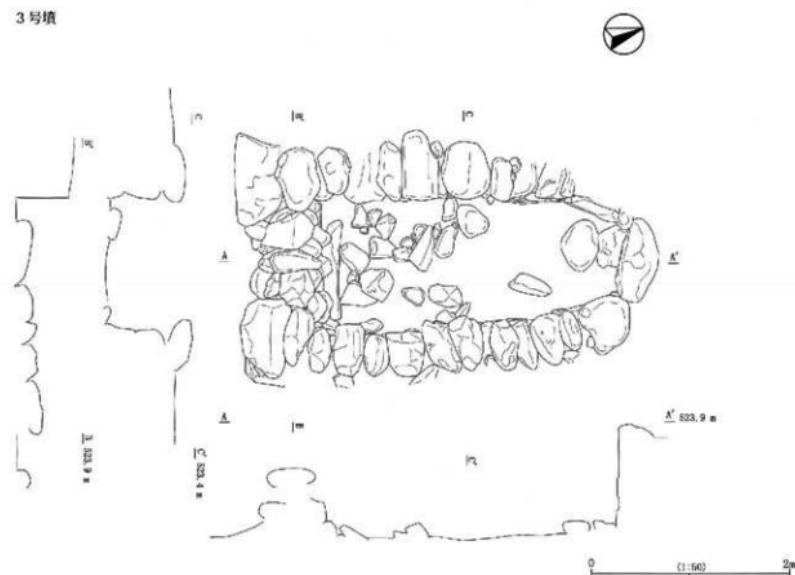


第6図 3号墳

2号填

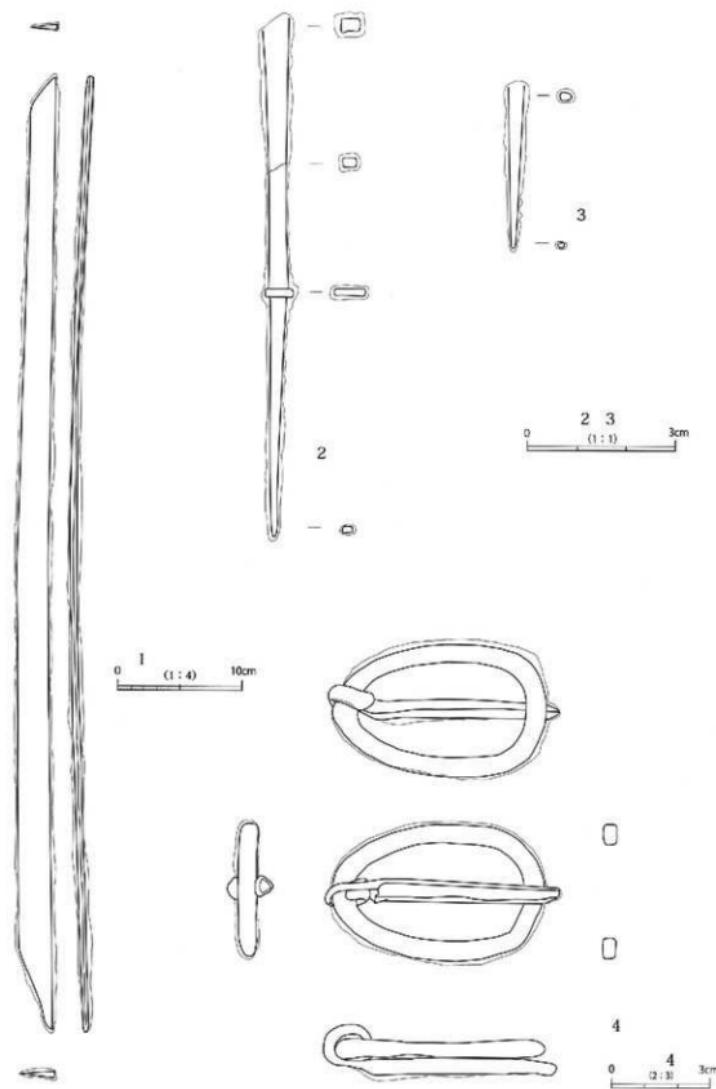


3号填

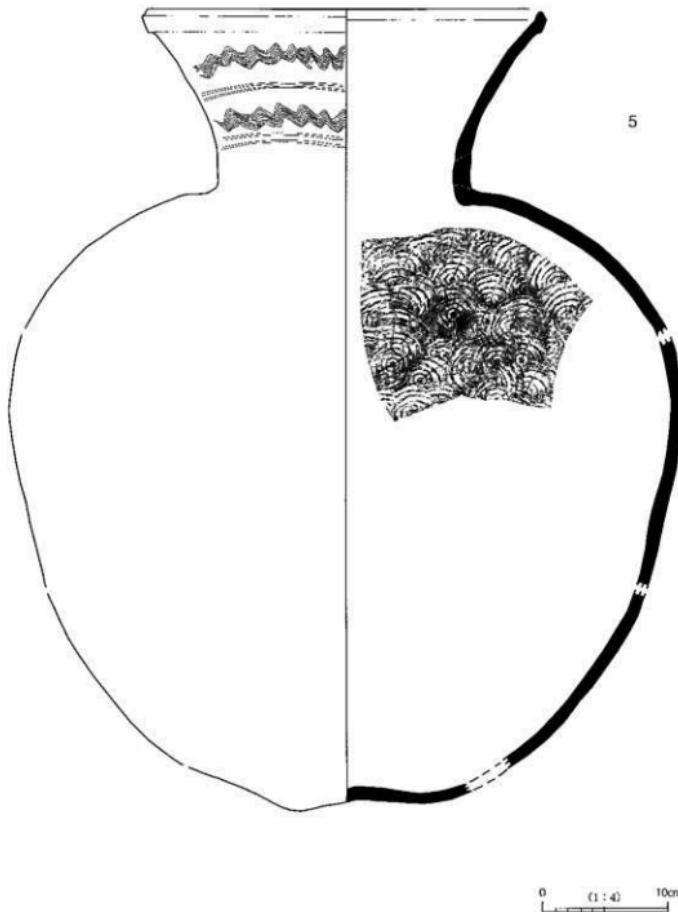


第7図 2号填・3号填石室

2号墳

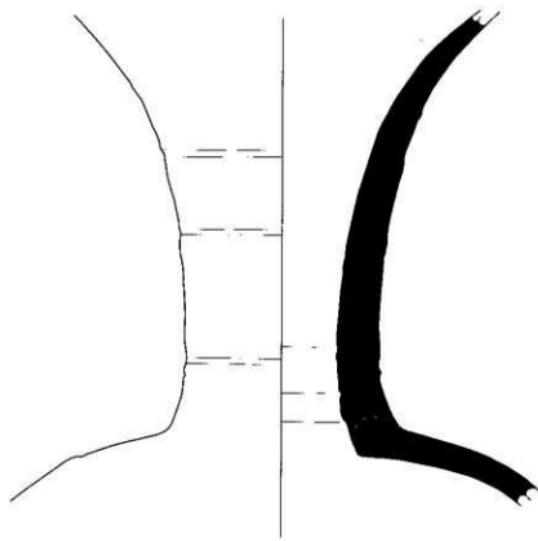


第8図 2号墳出土遺物

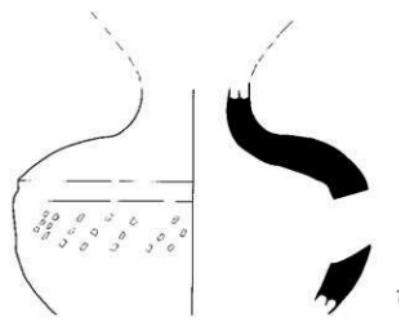


第9図 2号墳出土遺物

2号填



6

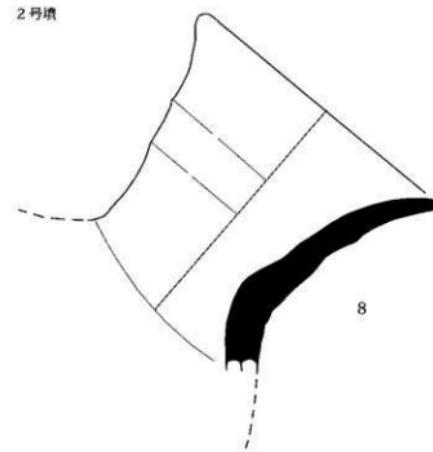


7

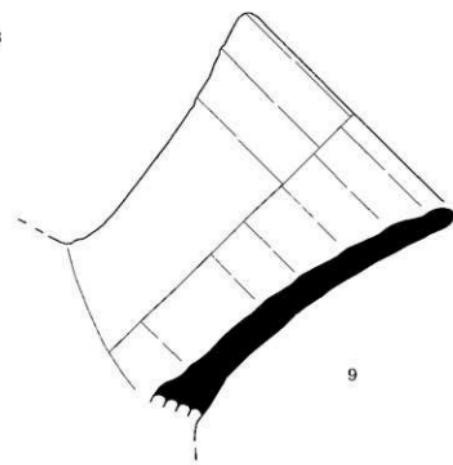
0 (1:1) 3cm

第10図 2号填出土遺物

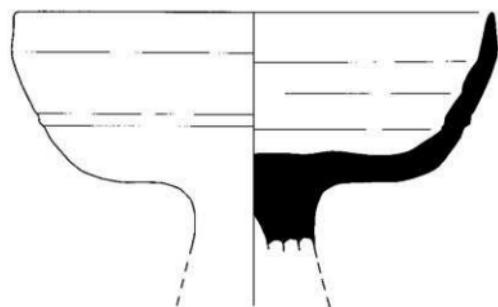
2号墳



8



9



10

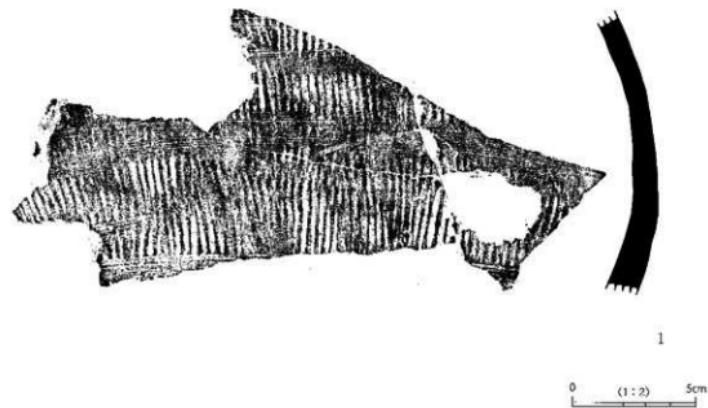
0 (1:1) 3cm

第11図 2号墳山上遺物

2号墳その他

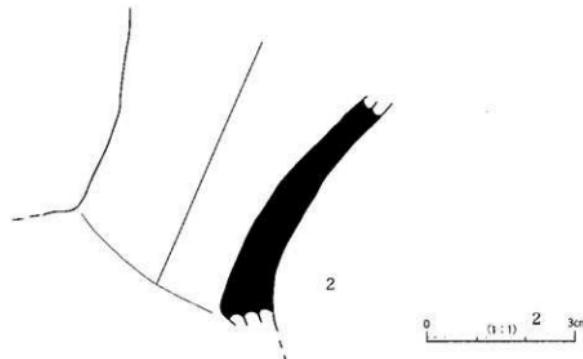


3号墳

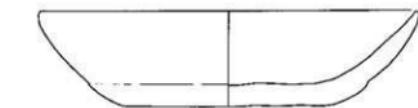


第12図 2号墳その他出土遺物・3号墳出土遺物

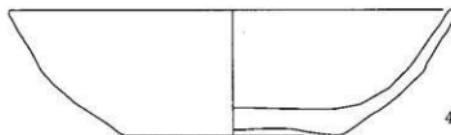
3号墳



3



4



第13図 3号墳出土遺物

表1 出土遺物観察表

単位 cm
()内の数字は、推定値

編目	遺物番号	出土地点	種別	器種	口径	底径	器高	色調	胎上	形態像文	備考
8	1	2号墳	金器製品	直刀	-	-	-	-	-	-	長さ 79.0 幅 30.7 厚さ 0.8-0.9 重さ 480g
8	2	2号墳	金器製品	瓦轍	-	-	-	-	-	-	長さ 10.8 幅 0.3 厚さ 0.2 重さ 6.1g
8	3	2号墳	金器製品	瓦轍	-	-	-	-	-	-	長さ 3.5 幅 0.2 厚さ 0.15 重さ 0.9g
8	4	2号墳	金器製品	馬具	-	-	-	-	-	-	長さ 6.4 幅 4.2 重さ 38.9g
9	5	2号墳	漆漆器	甕	32.0	-	(65.0)	暗灰色	-	(内) スタンプ状タタキ目 (外) 繊維? 木の波線が通り沈 板上に波状文	-
10	6	2号墳	漆漆器	蓋振版	-	-	-	黄灰色	-	-	-
10	7	2号墳	漆漆器	甕	-	-	-	深緑	-	3列の列文	供献用、自然輪
11	8	2号墳	漆漆器	平瓶	(6.0)	-	-	灰黄色	粗い	-	鉄輪
11	9	2号墳	漆漆器	平瓶	(5.7)	-	-	灰色	密	-	漆部と全体との境目に黄色の軸の粒子
11	10	2号墳	漆漆器	高杯	9.6	-	-	灰色	緻密	-	-
12	11	2号墳	石器	石鍬	-	-	-	-	-	鋸齒状	黒曜石、長さ 1.6 幅 1.3 厚さ 0.4 重さ 0.4g
12	12	2号墳	石器	石鍬	-	-	-	-	-	-	黒曜石、長さ (1.9) 幅 1.3 厚さ 0.3 重さ 0.4g
12	13	2号墳	土器	深鉢	-	-	-	鈍い洪褐色	砂粒子含む	/ハの字文	-
12	14	2号墳	土器	陶鉢	-	-	-	-	-	-	-
12	1	3号墳	漆漆器	甕	-	-	-	灰黄色	白色粒子、雲母	(外) 印き目文と縁ナギ	-
13	2	3号墳	漆漆器	平瓶	-	-	-	灰黄色	粗い	-	-
13	3	3号墳	土器	环	11.6	6.2	3.0	鈍い洪褐色	白色粒子	内外ヘラ削り	鬼面
13	4	3号墳	土器	环	13.8	6.6	4.0	茶褐色	やや粗い	内外ロクロナフ 底部糸切り底ヘラ削り	在地系

写真図版



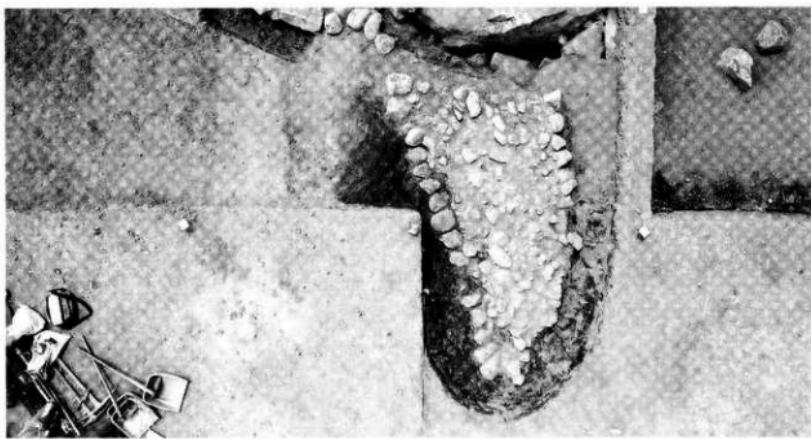
2号填



2号填直刀出土状况



3号填完掘



石列遺構



2号填



4



6



7



8



9



10

2号填出土遗物

2号墳その他



11



12

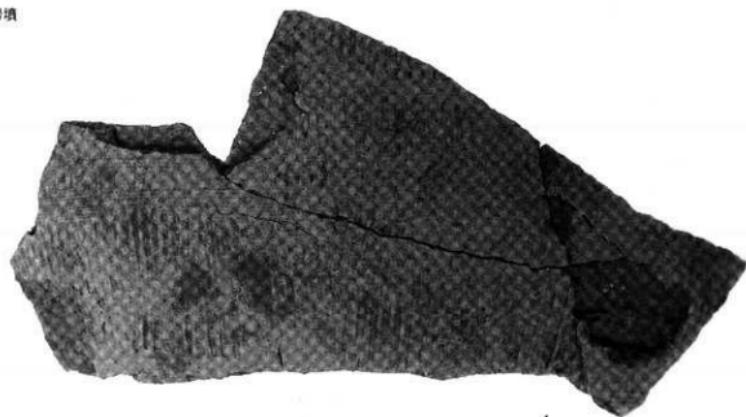


13

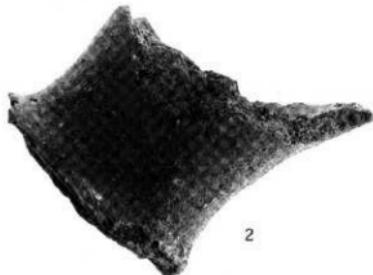


14

3号墳



1



2



3



4

2号墳その他出土遺物・3号墳出土遺物

報告書抄録

ふりがな	ゆざわこふん にごうふん さんごうふん
古名	湯沢古墳 2号墳・3号墳
副題	バーミヤン須玉インター店建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ	-
編著者名	山路恭之助 深沢裕三
発行者	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
編集機関	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
所在地・電話	〒408-0112 山梨県北巨摩郡須玉町若神子1429 TEL0551-20-6111
発行日	平成14年12月31日
遺跡所在地	山梨県北巨摩郡須玉町若神子字小林3124-1番地他
	25,000分の1地形図 若神子
	位置 東経138°25'22" 北緯35°47'20.4" 標高522m
	市町村コード 194034
調査原因	バーミヤン須玉インター店建設
調査期間	平成13年6月18日～7月16日 10月22日～31日 12月3日～10日
調査機関	須玉町教育委員会 特定非営利活動法人文化資源活用協会
調査面積	2,585m ²
時期	縄文時代、弥生時代、古墳時代、平安時代、中世、近世
主な遺構	古墳2基
主な遺物	鉄製品、石器、縄文土器、須恵器、土師器
特記事項	

印刷仕様

紙 質 表 紙 テンカラーねずみ 215Kg
本 文 コート紙 70.5Kg
D T P Macintosh Adobe InDesign2.0
使用 フォント 小塙明朝、小塙ゴシックを使用
画 像 原 稿 陶調画像枚数はカラー 175 線、モノクロ 133 線

湯沢古墳
2号墳・3号墳

バーミヤン須玉インター店建設工事に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告書

平成 14 年 11 月 30 日発行

編 集

須玉町教育委員会

特定非営利活動法人文化資源活用協会

発 行

須玉町教育委員会

特定非営利活動法人文化資源活用協会

印 刷

株式会社 ヨネヤ

